

平成21年11月17日

新宿区 長

法人名

NPO法人コミュニケーション・スクエア 21

所在地

東京都新宿区三栄町6 小椋ビル 403

（フリガナ） おおつか きみひ

代表者氏名 大塚 公彦



事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	やさしい共生社会を体験する「ピポ・ユニバーサル駅伝大会」
実施日時又は期間	平成21年9月26日（土） 9:30～14:00
対象者の範囲及び人数	新宿区通学、通勤・在住者／東京都および首都圏在住者 参加人数：230名（選手、ボランティア）
事業内容	「第8回ピポ・ユニバーサル駅伝大会および参加者交流会」 この駅伝は選手・ボランティアの別なく、年齢・性別・国籍・身体状況の違いを超えて協力しあい、心を通わせる体験をするユニバーサル・スポーツイベントである。 2002年に新宿区で初めて開催され、昨年からは大田区でも開かれるなど広がりを見せている。
具体的な活動状況	「ピポ・ユニバーサル駅伝」 車椅子使用者・視覚障害者・小学生・60歳以上・フリースタイルの5人の選手と、チームリーダー2名、伴走ボランティアその他3名の合計10名が1つのチームを組みゴールをめざした。勝敗は、スピードを競うのではなく、隠しタイムに一番近いチームを1位とするので、それぞれのチームの状況に合わせて、楽しく走る姿が見られた。



	またゴール付近ではいくつかのチームがデッドヒートを繰り広げるなど競技としても見所があり、声援に一段と力が入った。 「参加者交流会」 今年はチームの交流を更に深めるために、新しく芝生となった四谷第六小学校の校庭に音楽グループを招いた。「香音天」のリズミカルな演奏に、海外参加者をはじめ皆が踊りだす場面もあり、会場全体が一体となる楽しいコンサートとなった。
事業の成果	- 第8回を迎えた今年も「違いを越えて、支えあいの楽しさを体験する駅伝大会」として、いろいろな人と人との出会があった。特に、タジキスタン・ネパール・フィジー・インド・中国・インドネシアから、障害者リーダー研修に来日中の7名が参加し、彼ら自身も日本での貴重な体験になったという感想をいただいている。それを通じて『共生社会』の心地よさを、参加者が身をもって体験できた。 - 次のような地元各団体との協働で事業を展開できた。 【協力】レガス新宿・四谷第六小学校 【選手・一般ボランティア】 (助)日本障害者リハビリテーション協会、四谷地区小学校 【会場設営】東京電力(株)新宿支社 【チームリーダー・ボランティア】 - 日本リハビリテーション専門学校、全労済東京都本部西部支所

2 助成対象事業費内訳(実績)

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書(写し可)を添付してください。

収入	経費	積算根拠(内訳)	金額
	団体負担金		341,948
	参加費・資料代等	参加費:大人146人×@1,000 子供17人×@500	154,500
	その他の収入	寄付金	428,000
	協働推進基金助成金	500,000	
	計	1,424,448	
支出 (助成の対象になる事業費の内訳)	費目	予算額	内訳
	会議費	112,250	会場使用料(資料コピー代を含む)35日 (@3,150×35=110,250円)会場使用料(@1,000×2)
	宣伝費	158,434	チラシ(3500枚)・ポスター(100枚)・プログラム(400枚)作成 89,434円、横断幕作成 35,000円、記録DVD作成 34,000円
	リース費 (借料)	210,336	レンタカー利用料 10,206円、プロジェクター借料(研修会・後援企業説明会) 63,000円、会場音響/その他の機器一式 63,000円、会場設営設備借料 74,130円
	消耗品費	85,768	事務用品 50,268円 看板、ゼッケン代、旗 35,500円
	謝礼	133,500	審判員活動費@2,500×6人=15,000円 走路員謝礼@500×47人=23,500円 研修会講師@5,000×2人=10,000円 手話通訳(半日)5,000円 通訳(一日)10,000円 交流会演奏謝礼 70,000円
	人件費	204,000	事務局人件費 準備期間@4,000×42人日 事後処理@4,000×8人日 車椅子運搬、機材運搬、会場設営@4,000×1人日
	材料費	31,392	賞状作成材料費
	交通費	199,600	実行委員、スタッフ交通費@1,000×102人日 駐車料金600円 事務局交通費@1,000×97人日
	その他諸経費	163,153	雑費4,399円 保険料 8,100円 通信発送費 68,154円(関係者・参加者等への連絡) ミニオーケストラ音響代・楽器配送費 82,500円
	助成対象事業費(小計)	1,298,433	
	助成対象外事業費	126,015	賞品及び雑費 7,744円 人件費差額 1,000円 名刺作成費 5,600円 実行委員会、スタッフミーティング弁当代 21,671円 当日弁当代@500×180人=90,000円)
	事業総額		1,424,448

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	チームの中での交流を第一に考え準備を進めた。チームマネージャー研修では、車椅子の扱い方のノウハウだけでなく、ちょっとした気遣いがあれば障害者とのコミュニケーションがうまくいくことなどポイントを伝えた。どのチームもマネージャーを中心に非常に良くまとまって充実した一日を過ごしていた。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	次のような地元各団体との協働で事業を展開でき、ピポの理念を共有できた。 【協力】レガス新宿・四谷第六小学校 【選手・一般ボランティア】財団法人日本障害者リハビリテーション協会、四谷地区小学校 【会場設営】東京電力㈱新宿支社 【チームリーダー・ボランティア】日本リハビリテーション専門学校、全労済東京都本部西部支所
新たに気づいた課題は何か。	今年からレガス新宿の協力を得られ、走路の安全確保などの面では安心して運営できたことは、大変ありがたかった。今後は会場やコースを、国立競技場の中にも利用できるようにするなど、参加者にとってより魅力的な大会作りを目指す。
理解者や支援者が広がったか。	レガス新宿との協力関係により、同時開催された区民総合体育大会陸上競技会、新宿区トリムマラソンに参加された多くの人たちが「ピポ・ユニバーサル駅伝」を知るきっかけになった。
事務局の執行体制は十分だったか。	CS21の活動を支えるメンバーは、他の仕事を持ちながらの人が多いが、互いに時間や仕事の調整をして、無事に事業を終えることができた。
今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。	今春、大田区でも第2回のユニバーサル駅伝大会が開催された。このような試みが、新宿区を発祥の地として各地に拡大する事業とすることが大切である。

その他

4 活動の成果

* 事業の成果物（冊子など）又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。
* 参加者の意見なども報告してください。

* 事業の成果物

「第8回ピポ・ユニバーサル駅伝」記録DVD 提出

* アンケートより

選手から

- ◎ アイマスクで視覚障害者の人の気持ちが分かり、良い体験ができた。
- ◎ 楽しかった／楽しい一日が過ごせた／「くいしんぼうチーム」としてとても楽しく頑張れた。／とても楽しかったです／初めての長距離で疲れたけど、楽しめました。／気持ちよく走れてよかった

ボランティアから

- ◎ 留学生の皆さんやチームの方たちと交流ができ、楽しい一日を過ごすことができた。（複数）
- ◎ いつもは出来ない経験が出来て成長できた。（チームマネージャー）
- ◎ お天気もよく、和気藹々としてとても楽しかった。
- ◎ 初めて参加したけれど思いのほか楽しくやれた。
- ◎ 留学生の彼らも、ほとんどは「とても楽しかった」「日本人は親切」「日本の友人ができた」と喜んでくださっていたホッとした。
- ◎ 同じチームだったノアディンとは、マネージャーが一生懸命情報を伝えたりチームメンバーが英語でコミュニケーションをとったりしていたが、どこまで伝わっていたのかは気になる。
- ◎ もうひとりの聴覚障害者のアルティも含めて、やはり聴覚障害の方たちが一番情報弱者なのかもしれないと感じた。

ピポ駅伝競技について

- ◎ 国・年齢・性別を超え、スポーツを通じて協力しあうことができ素晴らしいかった。
- ◎ 他では味わうことの出来ない経験ができた。
- ◎ いろんな方々と共通のことをでき、すばらしいと思う。／駅伝なので、チームがひとつになれるので良いと思った。／みんな一生懸命で楽しく走れてよかった。
- ◎ いろいろな人と触れあえて良かった。
- ◎ 障害者だけでなく、国の壁を越えて、異文化交流がはかれて大変良かった。

交流会について

- ◎ 交流会のプログラムもシンプルで良かったし、コンサートも盛り上がっていた。
- ◎ 今年初の音楽会でとても大成功だった。／いろんな国の方と楽しめた。／皆で盛り上がって、とても良い雰囲気良かった。／音楽に合わせて踊ってとても楽しかった。

- ◎ 癒しのコンサートは、とても心に響きました。／演奏会が良かった。／音楽を通して、皆がひとつになれた。
- ◎ 運動場開催：やはり音響装置が無くては声が通りにくかった。
- ◎ コンサート：お弁当を食べながら聞くこともできよかった。前半はスポーツの後ということで静かな曲、後半はジャンベなどで打楽器とのりのいい曲で盛り上がりよかった。
- ◎ 知的障害の人や発達障害の人は リズムを感じ取りいい表情だったと思う。
- ◎ 聴覚障害の人にとって打楽器は波動を感じ取ってもらったかなと思う。
- ◎ 芝生で踊り楽しむことができたかなという感じ。
- ◎ 演奏者とはもう少し打ち合わせをして 会場とのやりとりをくわえてもらってもよかったと思った。これはこちらのやりとりで改善できたと思う。
- ◎ 芝生での開催：自然を満喫することができたが、参加者から、日差しが強く運動場は暑かったという声を聞いた。